



武雄市立西川登小学校 『校訓』 たくましく・やさしく・たたくましく

学校だより **西っ子**  
Try&Error&Cheer

26号 令和7年1月8日  
文責:校長 小川 修



2025 令和7年のスタート  
と同時に  
令和6年度(今の学年)の締めくくりのスタート!



新年あけましておめでとうございます。今年度の残りも3か月となりました。保護者の皆様、地域の皆様！今年もよろしくお願ひ申し上げます。

今年のお正月はいかがだったでしょうか。天気にも恵まれ、素晴らしい日の出を見られた方も多かったのではないのでしょうか。

一方で、インフルエンザが全国的に警報レベルに達しており、これからますます気温が下がる1月～2月の流行拡大が心配されます。基本的な対策をきちんと心がける必要がありますね。

2週間ぶりに見た子ども達は、明るく元気に登校してくれて嬉しかったです。年が変わって気分も新たに気持ち充実している様子が伺えました。以下の記述は冬休み前に話をした内容です。



学校で何を学んでいるのでしょうか・・・

**知**育＝知恵を育てる・・・学んだだけではただの知識。その知識を活かし知恵とすること。

**徳**育＝道德心を育む・・・感謝の行為、反省する行為、自分と他者を大切にする行為。

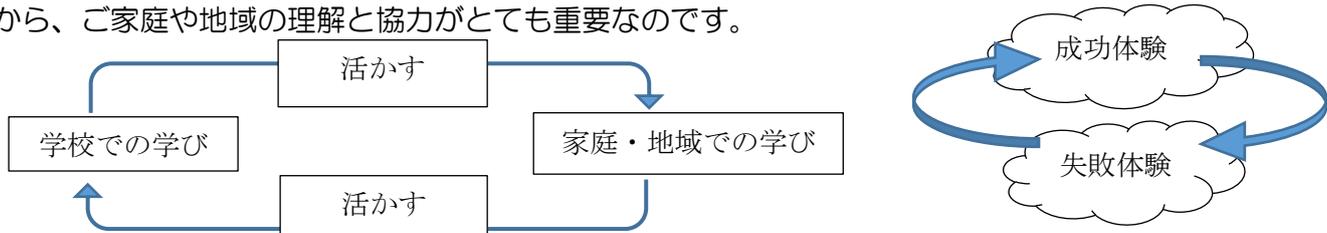
**体**育＝行動する源の力・・・行動体力、防衛体力。

国語や算数・・・教科や領域で学ぶものは、知識。その知識は生活の中で活かして初めて自分のものとなる。それが知恵。知識を学んだだけでは、不十分。活かして自分のものとする事です。

心。心は見えません。見えるのは「その思いが伝わる行為」です。そして、その行為は「考えた結果」です。ですから、何をすべきか・どのように行動するべきかをしっかり考え、行動することが、目には見えない心を育てることにつながります。

心身の健康。“よしやろう！”と行動する力、続ける力、逆境に耐える力を発揮するには、「行動体力」が必要です。また、病気に打ち勝つ、ケガから回復する、心理的ストレスに負けないためには、「防衛体力」が必要です。その両方の体力を向上させるための基本は、食事・睡眠・適度な運動です。

「知・徳・体」をバランスよく育てるには、授業中、登下校中、休み時間中、掃除時間、給食時間に起こるすべての「**事**」に“どのように対処したか”を積み上げていくことが重要です。しかも、その力が本当に身についているかを確認することができるのは、「学校」という枠以外の「場所」と「時間」なのです。ですから、ご家庭や地域の理解と協力がとても重要なのです。



\*\*\*\*\*

今の学年が終わるまで50日を切っています。6年生は、義務教育9年間の学校のうち6年間が終わります。すべての子ども達が、よりよく生きていく力を身に付けるための土台となる学校生活をしっかりおくことができるよう、教職員一同力を合わせて教育活動に当たりますので、今年もよろしくお願ひ申し上げます。

